

登録販売者試験 問題集

令和 8 年版

中国・四国ブロック

(島根・鳥取・岡山・広島・山口・香川・愛媛・高知)

◆厚生労働省「試験問題の作成に関する手引き（令和8年4月）」対応

目次

☐ 1. 令和7年度（2025年度）	問題	5
	正解&解説	50
☐ 2. 令和6年度（2024年度）	問題	62
	正解&解説	104
☐ 3. 令和5年度（2023年度）	問題	116
	正解&解説	158
☐ 4. 令和4年度（2022年度）	問題	170
	正解&解説	214
☐ 5. 令和3年度（2021年度）	問題	226
	正解&解説	266

公論出版

● 本書の使い方 ●

①本書は、各都道府県が行う登録販売者試験のうち、中国・四国ブロック（島根・鳥取・岡山・広島・山口・香川・愛媛・高知）で実施された過去5年分（令和7年度～令和3年度）を、年度ごとに「問題」と「正解&解説」にまとめたものです。

②試験問題は、厚生労働省作成の「試験問題の作成に関する手引き」に沿って出題されています。なお、本書は「試験問題の作成に関する手引き」（令和4年3月作成、令和7年4月、令和8年4月一部改訂）を元に編集を行っています。令和7年度～令和3年度の問題文に「改」とあるものは、出題時の「試験問題の作成に関する手引き」から改訂された内容となり、編集部で試験問題を一部変更していることを表します。

③「正解&解説」には公表されている正解と、「試験問題の作成に関する手引き」を参考に編集部が作成した解説を掲載しています。

各問ごと、選択肢ごとに解説しているため、わからなかったり不正解してしまった問題は、解説の太字部分を参考に繰り返し解いていくことで苦手部分を集中的に学習できます。

また、関連する事項も合わせて学習し、対策することができます。

④公論出版ホームページ（<https://www.kouronpub.com>）、もしくは右記のQRコードから本書の解答用紙がダウンロードできます。マークシート式と記述式の2種類をご用意しておりますので、学習方法に合わせてご活用ください。



⑤本書の内容に訂正等が生じた場合には、公論出版ホームページにてご案内いたします。（<https://www.kouronpub.com>）



● 受験ガイド ●

1. 登録販売者とは

医薬品の販売業務は、薬剤師又は登録販売者でなければ行うことができません。登録販売者は、一般用医薬品のうち、第二類医薬品と第三類医薬品を販売できる資格です。

2. 登録販売者試験の受験資格

学歴、実務経験を問わないため、誰でも受験することができます。

3. 登録販売者試験について

● 試験地

①毎年通常1回、各都道府県ごとに実施されます。令和7年度は、以下の7ブロックで行われました。ただし、年度によりブロックが変更になる場合があります。

[北海道・東北] 北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
[北関東・甲信越] 茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟
[南関東] 東京・埼玉・千葉・神奈川
[北陸・東海] 富山・石川・岐阜・静岡・愛知・三重
[関西広域連合・福井] 滋賀・京都・大阪・兵庫・和歌山・奈良・徳島・福井
[中国・四国] 鳥根・鳥取・岡山・広島・山口・香川・愛媛・高知
[九州・沖縄] 福岡・大分・宮崎・鹿児島・熊本・佐賀・長崎・沖縄

②試験の日時・場所・申込方法等は、4月以降、各都道府県のホームページ等に掲載されます。

③どこの都道府県でも受験可能です(※)。また、1つの都道府県で合格すると、勤務地となる、どこの都道府県でも販売従事登録を受け、登録販売者として働くことが可能です。

※願書提出時点で当該都道府県に在住、通勤又は通学している人の受験に制限される場合があります。ご注意ください。

● 試験出題内容

厚生労働省作成の「試験問題の作成に関する手引き」から、各ブロックごとに試験問題が出題されます。

マークシート方式の筆記試験で、全120問（午前2時間で60問、午後2時間で60問）で、その内訳は次のとおりです。

試験科目	手引き	配点	試験時間
医薬品に共通する特性と基本的な知識（20問）	1章	20点	午前 2時間（120分）
人体の働きと医薬品（20問）	2章	20点	
薬事に関する法規と制度（20問）	4章	20点	
主な医薬品とその作用（40問）	3章	40点	午後 2時間（120分）
医薬品の適正使用と安全対策（20問）	5章	20点	
合計（120問）		120点満点	4時間

●合格基準

中国・四国ブロックにおける配点は、1問1点とし、以下2つの基準の両方を満たすと、合格となります。

- ①総出題数（120問）に対する正答率が70%以上（84点以上）であること。
- ②試験項目ごとの出題数に対する正答率が40%以上（20点中8点以上、40点中16点以上）であること。

● 本書籍に関するお問い合わせ ●

本書の内容でわからないことがありましたら、**必要事項を明記の上**、問い合わせメールアドレス（inquiry@kouronpub.com）または右記のQRコードからお問い合わせください。



キャリアメールをご使用の場合、（inquiry@kouronpub.com）の受信設定を行ってからご連絡ください。

●必要事項

- ①書籍名（年版・地域など）
- ②該当ページ数
- ③お問い合わせ内容
- ④お客様の氏名とフリガナ

●お問い合わせに関してのお願い

- ・電話でのお問い合わせは、受け付けておりません。
- ・お問い合わせは、本書の内容に限ります。
- ・本書発行日から1年を経過した場合、内容のお問い合わせはお控えください。
- ・回答までにお時間がかかる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・必要事項に記載漏れ等があると、お答えできない場合がございます。ご注意ください。

令和8年7月 編集部

〔医薬品に共通する特性と基本的な知識〕

問1 医薬品の本質に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 医薬品は、人の疾病の診断、治療若しくは予防に使用されること、又は人の身体の構造や機能に影響を及ぼすことを目的とする生命関連製品である。
2. 医薬品は、人体にとっては異物（外来物）であるため、必ずしも期待される有益な効果（薬効）のみをもたらすとは限らない。
3. 一般用医薬品は、医療用医薬品と比較すれば保健衛生上のリスクは相対的に低いと考えられる。
4. 医薬品医療機器等法では、健康被害の発生の可能性がある場合のみ、異物等の混入、変質等がある医薬品を販売等してはならない旨を定めている。

問2 医薬品のリスク評価に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 薬物用量が治療量上限を超えると、やがて効果よりも有害反応が強く発現する「最小致死量」となり、「中毒量」を経て、「致死量」に至る。
- b. 少量の医薬品の投与では、発がん作用、胎児毒性や組織・臓器の機能不全は生じない。
- c. 医薬品の安全性に関する非臨床試験の基準として、Good Clinical Practice（GCP）が制定されている。
- d. 医薬品の製造販売後の調査及び試験の実施の基準として、Good Post-marketing Study Practice（GPSP）が制定されている。

	a	b	c	d
1.	正	正	正	誤
2.	正	誤	正	正
3.	正	正	誤	正
4.	誤	誤	正	誤
5.	誤	誤	誤	正

問3 いわゆる「健康食品」に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 「特定保健用食品」は、身体の生理機能などに影響を与える保健機能成分を含むもので、個別に（一部は規格基準に従って）特定の保健機能を示す有効性や安全性などに関する国の審査を受け、許可されたものである。
- b. 健康増進や維持の助けになることが期待される健康食品は、あくまで食品であり、医薬品とは法律上区別される。
- c. 健康食品は、医薬品との相互作用で薬物治療の妨げになることはない。
- d. 一般用医薬品の販売時に健康食品の摂取の有無について確認することは重要で、購入者等の健康に関する意識を尊重しつつも、必要があればそれらの摂取についての指導も行うべきである。

	a	b	c	d
1.	正	正	正	誤
2.	正	正	誤	正
3.	正	誤	誤	正
4.	誤	誤	正	誤
5.	誤	誤	誤	誤

令和7年度(2025年度) 午前 正解&解説

【医薬品に共通する特性と基本的な知識】

問1 正解：4

4. 医薬品医療機器等法では、健康被害の発生の可能性の**有無にかかわらず**、異物等の混入、変質等がある医薬品を販売等してはならない旨を定めている。

問2 正解：5 (a. 誤：b. 誤：c. 誤：d. 正)

- a. 治療量上限を超えると、やがて効果よりも有害反応が強く発現する「**中毒量**」となり、「**最小致死量**」を経て、「致死量」に至る。
- b. 少量の医薬品の投与でも発がん作用、胎児毒性や組織・臓器の機能不全を**生じる**場合もある。
- c. Good Clinical Practice (GCP) は、**ヒトを対象とした臨床試験の実施の基準**として制定されている。一方で、医薬品の安全性に関する非臨床試験の基準には、Good Laboratory Practice (GLP) が制定されている。

問3 正解：2 (a. 正：b. 正：c. 誤：d. 正)

- c. 健康食品は、医薬品との相互作用で薬物治療の妨げになることも**ある**。

問4 正解：1 (a. 誤：b. 正：c. 正：d. 正)

- a. 世界保健機関 (WHO：World Health Organization) によれば、セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、**軽度な身体の不調**は自分で手当てすること」とされている。

問5 正解：2 (a. 正：b. 誤：c. 正：d. 正)

- b. アレルギーには体質的・遺伝的な要素もあり、アレルギーを起こしやすい体質の人や、近い親族にアレルギー体質の人がいる場合には、注意が**必要である**。

問6 正解：2

1. 多く飲めば早く効くと短絡的に考えて、定められた用量を超える量を**服用すると副作用につながる危険性が高い**。
3. 一般用医薬品にも習慣性・依存性がある成分を含んでいるものが**あり**、そうした医薬品がしばしば乱用されることが知られている。
4. 青少年は、薬物乱用の危険性に関する認識や理解が必ずしも十分でなく、好奇心から身近に入手できる薬物を興味本位で**乱用することがあるので**、注意が必要である。

問7 正解：4 (a. 正：b. 誤：c. 正：d. 正)

- b. 相互作用には、医薬品が**吸収、分布、代謝又は排泄**される**過程で起こるもの**と、医薬品が薬理作用をもたらす部位において起こるものがある。

問8 正解：3

3. 小児は大人と比べて身体の大きさに対して腸が**長く**、服用した医薬品の吸収率が相対的に**高い**。

問9 正解：4

4. 「医療用医薬品の添付文書等の記載要領の留意事項」(平成29年6月8日付け薬生安発0608第1号厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長通知別添)は、おおよその目安として**65歳以上**を「高齢者」としている。

問10 正解：4 (b. c)

- a. 胎盤には、胎児の血液と母体の血液とが混ざらない仕組み(血液-胎盤関門)があり、母体が医薬品を使用した場合に、血液-胎盤関門によって、**どの程度**医薬品の成分の胎児への移行が**防御されるかは、未解明**のことも多い。
- d. 授乳婦が使用した医薬品の成分の一部が乳汁中に**移行することが知られている**。

問11 正解：2 (a. 誤：b. 正：c. 誤：d. 正)

- a. 一般用医薬品を使用することで、生活習慣病等の慢性疾患の症状が**悪化したり**、治療が妨げられることもある。
- c. 医療機関での治療は特に受けていない場合であっても、医薬品の種類や配合成分等によっては、特定の症状がある人が使用するとその症状を**悪化させる**おそれがあるため注意が必要である。

問12 正解：1

プラセボ効果は、医薬品を使用したこと自体による(a：**楽観的な結果への期待**)や、条件付けによる生体反応、時間経過による(b：**自然発生的な変化**)等が関与して生じると考えられている。

プラセボ効果によってもたらされる反応や変化は不確実であり、それを目的として医薬品が(b：**使用されるべきではない**)。

問13 正解：4 (a. 誤：b. 誤：c. 正：d. 正)

- a. 表示されている「使用期限」は、**未開封状態**で保管された場合に品質が保持される期限である。

〔医薬品に共通する特性と基本的な知識〕

問1 医薬品の本質に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 医薬品は、人の疾病の診断、治療若しくは予防に使用されること、又は人の身体の構造や機能に影響を及ぼすことを目的とする生命関連製品であり、その有用性が認められたものである。

b. 人体に対して直接使用されない医薬品は、人の健康に影響を与えることはない。

c. 一般用医薬品は、使用に際して、保健衛生上のリスクを伴わないものである。

d. 購入者が、一般用医薬品を適切に選択し、適正に使用するためには、その販売に専門家が関与し、専門用語を分かりやすい表現で伝えるなどの適切な情報提供を行うことが不可欠である。
- | | a | b | c | d |
|----|---|---|---|---|
| 1. | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 2. | 正 | 誤 | 正 | 正 |
| 3. | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 4. | 誤 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5. | 誤 | 正 | 誤 | 正 |

問2 医薬品の本質に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 医薬品医療機器等法では、健康被害の発生の可能性があるときに限り、異物等の混入、変質等がある医薬品を販売してはならない旨を定めている。

b. 一般用医薬品として販売される製品は、製造物責任法（平成6年法律第85号）の対象である。

c. 一般用医薬品には、製品に添付されている文書（添付文書）や製品表示に、効能効果等の購入者等が適切に使用するために必要な情報が記載されている。

d. 一般用医薬品の販売に従事する専門家は、市販後の有効性、安全性に関する情報の把握に努める必要はない。
1. (a、b)

2. (a、c)

3. (a、d)

4. (b、c)

5. (b、d)

【医薬品に共通する特性と基本的な知識】

- 問1 正解：3 (a. 正：b. 誤：c. 誤：d. 正)
- b. 人体に対して直接使用されない医薬品についても、人体がそれに^{あそ}触れられれば**健康を害する**おそれがあるものもある。
- c. 一般用医薬品であっても使用には、保健衛生上の**リスクを伴う**ものである。

問2 正解：4 (b、c)

- a. 医薬品医療機器等法では、健康被害の発生の可能性の**有無にかかわらず**、異物等の混入、変質等がある医薬品を販売等してはならない旨を定めている。
- d. 医薬品は、市販後にも、医学・薬学等の新たな知見、使用成績等に基づき、その有効性、安全性等の確認が行われる仕組みになっており、一般用医薬品の販売に従事する専門家においては、**常に新しい情報の把握に努める**必要がある。

問3 正解：1 (a. 誤：b. 正：c. 正：d. 正)

- a. Good Post-marketing Study Practice (GPSP) は医薬品の**製造販売後の調査及び試験の実施の基準**として制定されている。一方で、製造販売後安全管理の基準には、Good Vigilance Practice (GVP) が制定されている。

問4 正解：2 (a. 誤：b. 誤：c. 正：d. 正)

- a. 健康食品は、その多くが摂取しやすいように錠剤やカプセル等の医薬品に類似した形状で**販売**されている。
- b. 「機能性表示食品」は、事業者の責任で科学的根拠をもとに機能性関与成分が有する健康維持及び増進に役立つ機能を商品のパッケージに表示するものとして国に届出された商品であるが、特定保健用食品とは異なり国の個別の許可を受けたものではない。設問の内容は「**特定保健用食品**」について。

問5 正解：2 (a. 正：b. 誤：c. 正)

- b. 適切な健康管理の下で医療用医薬品からの代替を進める観点から、**条件を満たした場合にスイッチOTC医薬品の購入の対価について、一定の金額をその年分の総所得金額等から控除するセルフメディケーション税制の対象**になっている。

問6 正解：3 (a. 正：b. 誤：c. 誤：d. 正)

- b. アレルギーは、医薬品の薬理作用等とは関係なく起こり得るものであり、内服薬だけでなく**外用薬**等でも引き起こされることがある。
- c. 血管性浮腫は皮膚の下の毛細血管が拡張して、その部分に局所的な腫れを生じるもので、^{じん しん}蕁麻疹と異なり、^{かゆ}痒みを生じることは**少ない**。

問7 正解：1 (a. 正：b. 正：c. 誤)

- c. 副作用は、容易に異変を自覚できるものばかりでなく、血液や内臓機能への影響等のように、明確な自覚症状として**現れない**こともある。

問8 正解：3 (a、d)

- b. 長期連用により**精神的な依存が起こり**、使用量が増え、購入するための経済的な負担も大きくなる例も見られる。
- c. みだりに他の医薬品や酒類等と一緒に摂取するといった乱用がなされると、過量摂取による急性中毒等を生じる危険性が高くなり、乱用の繰り返しによって慢性的な**臓器障害等**を生じるおそれもある。

問9 正解：3 (a. 正：b. 正：c. 正)

問10 正解：2

2. 酒類(アルコール)は、医薬品の吸収や代謝に**影響を与える**ことがある。アルコールは、主として肝臓で代謝されるため、アセトアミノフェンなどは、通常よりも代謝されやすくなり、体内から医薬品が速く消失して十分な薬効が得られなくなることがある。また、代謝によって産生する物質(代謝産物)に薬効があるもの場合には、作用が強く出過ぎたり、逆に、代謝産物が人体に悪影響を及ぼす医薬品の場合は副作用が現れやすくなる。

問11 正解：1

- 小児は大人と比べて身体の大きさに対して腸が長く、服用した医薬品の(a：**吸収**)率が相対的に高い。また、血液脳開門が未発達であるため、吸収されて循環血液中に移行した医薬品の成分が脳に達しやすく、(b：**中枢**)神経系に影響を与える医薬品で副作用を起こしやすい。加えて、肝臓や腎臓の機能が未発達であるため、医薬品の成分の(c：**代謝・排泄**)に時間がかかり、作用が強く出過ぎたり、副作用がより強く出ることがある。

〔医薬品に共通する特性と基本的な知識〕

問1 医薬品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 人体に対して直接使用されない医薬品は、人の健康に影響を与えることはない。
- b. 医薬品は、人の疾病の診断、治療若しくは予防に使用されること、又は人の身体の構造や機能に影響を及ぼすことを目的とする生命関連製品であるが、使用に際して保健衛生上のリスクを伴わないものである。
- c. 医薬品の有効性、安全性等に関する情報は、知見の積み重ねによって集積されていく。

	a	b	c
1. 正	正	正	正
2. 正	誤	正	正
3. 正	誤	誤	誤
4. 誤	誤	正	正
5. 誤	正	誤	誤

問2 医薬品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. 一般用医薬品は、医療用医薬品と比較し、保健衛生上のリスクが相対的に低いため、市販後の有効性、安全性に関する情報の収集は不要とされている。
- b. 医薬品は、効能効果、用法用量、副作用等の必要な情報が適切に伝達されることを通じて、購入者が適切に使用することにより、初めてその役割を十分に発揮するものである。
- c. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）では、健康被害の発生の可能性があるときに限り、異物等の混入、変質等がある旨を定めている。
- d. 少量の医薬品の投与であっても発がん作用、胎児毒性や組織・臓器の機能不全を生じる場合がある。

	a	b	c	d
1. 正	正	誤	正	正
2. 誤	誤	正	正	正
3. 正	誤	誤	誤	誤
4. 誤	正	誤	正	正
5. 誤	誤	正	誤	誤

問3 新規に開発される医薬品のリスク評価に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a. ヒトを対象とした臨床試験における効果と安全性の評価基準として、国際的に Good Laboratory Practice（GLP）が制定されている。
- b. 薬効－薬理試験や一般薬理作用試験の他に、単回投与毒性試験、反復投与毒性試験、生殖・発生毒性試験、遺伝毒性試験、がん原性試験などの毒性試験が厳格に実施されている。
- c. 医薬品と食品に要求されている安全性基準は同一である。

	a	b	c
1. 誤	誤	正	正
2. 正	誤	誤	誤
3. 誤	正	誤	誤
4. 正	正	誤	誤
5. 誤	正	正	正

【医薬品に共通する特性と基本的な知識】

問1 正解：4 (a. 誤：b. 誤：c. 正)

- a. 人体に対して使用されない医薬品についても、人の健康に**影響を与えるものもある**。
- b. 医薬品は、人の疾病の診断、治療若しくは予防に使用されること、又は人の身体の構造や機能に影響を及ぼすことを目的とする生命関連製品であり、その有用性が認められたものであるが、使用には、保健衛生上の**リスクを伴う**。

問2 正解：4 (a. 誤：b. 正：c. 誤：d. 正)

- a. 一般用医薬品は、市販後にも、医学・薬学等の新たな知見、使用成績等に基づき、その有効性、安全性等の確認が行われる仕組みになっており、それらの結果を踏まえ、**リスク区分の見直し**がされる。
- c. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律では、**健康被害の発生の可能性の有無にかかわらず**、異物等の混入、変質等がある医薬品を販売等してはならない。

問3 正解：3 (a. 誤：b. 正：c. 誤)

- a. ヒトを対象とした臨床試験の実施の基準には、国際的に**Good Clinical Practice (GCP)** が制定されている。
- c. 医薬品については、食品などよりもはるかに**厳しい安全性基準**が要求されている。

問4 正解：2 (a. 正：b. 正：c. 誤)

- c. いわゆる健康食品には、その多くが摂取しやすいように**錠剤やカプセル等の医薬品に類似した形状**で販売されている。

問5 正解：1 (a、b)

- c. 医薬品が人体に及ぼす作用は、**すべてが解明されているわけではないため**、十分注意して適正に使用された場合であっても、**副作用が生じることがある**。
- d. 副作用は、眠気や口渇等の**比較的良好に見られるもの**から、日常生活に支障を来す程度の健康被害を生じる重大なものまで**様々**である。

問6 正解：1 (a. 正：b. 正：c. 誤：d. 正)

- c. アレルギーは、一般的にあらゆる物質によって起こり得るものであるため、医薬品の薬理作用等とは関係なく起こり得るものであり、内服薬だけでなく**外用薬等でも引き起こされることがある**。

問7 正解：4 (a. 正：b. 正：c. 誤)

- c. 一般用医薬品にも習慣性・依存性がある成分を含んでいるものがあり、一度、薬物依存が形成されると、そこから離脱することは**容易ではない**。

問8 正解：1 (a、b)

- c. 外用薬や注射薬であっても、食品によって医薬品の作用や代謝に影響を受ける**可能性がある**。
- d. 複数の疾病を有する人では、疾病ごとにそれぞれ医薬品が使用される場合が多く、医薬品同士の相互作用に関して特に**注意が必要となる**。

問9 正解：5

小児は大人と比べて、身体の高さに対して腸が(a：**長く**)、服用した医薬品の吸収率が相対的に(b：**高い**)。また、血液脳関門が未発達であるため、(c：**中枢神経系**)に影響を与える医薬品で副作用を起こしやすい。

問10 正解：3 (a. 誤：b. 正：c. 正：d. 誤)

- a. 一般に高齢者は生理機能が衰えつつあり、特に、肝臓や腎臓の機能が低下していると医薬品の作用が**強く現れやすい**。また、若年時と比べて副作用を生じる**リスクが高くなる**。
- d. 高齢者であっても基礎体力や生理機能の衰えの度合いは**個人差が大きく**、年齢のみから一概にどの程度リスクが増大しているかを判断することは**難しい**。

問11 正解：2 (a、c)

- b. 胎盤には、胎児の血液と母体の血液とが混ざらない仕組み(血液-胎盤関門)があるが、母体が医薬品を使用した場合に、血液-胎盤関門によって、どの程度医薬品の成分の胎児への移行が防御されるかは、**未解明のことも多い**。
- d. 一般用医薬品においても、多くの場合、妊婦が使用した場合における安全性に関する評価が**困難**であるため、妊婦の使用については「**相談すること**」としているものが多い。

問12 正解：5 (a. 正：b. 正：c. 誤)

- c. プラセボ効果は、主観的な変化だけでなく、客観的に測定可能な変化として現れることもあるが、**不確定**であり、それを目的として医薬品が**使用されるべきではない**。

登録販売者試験問題集
中国・四国ブロック 令和8年版

■ 発行所 株式会社 公論出版
〒110-0005 東京都台東区上野 3-1-8
TEL (販売) 03-3837-5745
(編集) 03-3837-5731

■ 定 価 1 8 7 0 円 (税込)

■ 発行日 令和8年7月

ISBN978-4-86275-385-4